

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第10号 2005年7月発行

三浦半島におけるホタルの里づくりの

ネットワーク

横須賀市自然・人文博物館 大場信義

ホタルが生息する環境には昔ながらの原風景が残り、各地域の水辺環境の特長や文化、生きものの多様性が保全されている。ホタルは人間活動と自然がバランスを保っている人里に生息する。ホタルが戻って来たということは、ホタルを含む多様な生きものが生息できる環境が再生されたということの意味する。

ホタルは幼虫が水生のものと陸生のものまで多様である。陸生のホタルは水源地としての森や林に生息することから、各種のホタルを保護することは、里山の自然を具体的に保護・再生することにつながる。

三浦半島東京湾岸で広がるホタルの里づくり

半島内において、ホタルの里づくりが行われている地域は狭い半島ではあるが、隣接した地域ごとに多数ある。半島の東京湾岸北部から「横須賀市^{おっぱま}追浜東町の水辺」「追浜浄化センターのトンボ池」「田浦のホタル生息地」「西逸見^{にしへんみ}ホタルの里」「馬堀^{まぼり}自然教育園のホタルやトンボの水辺」などがあるほか、内陸地位には「横須賀市の光の丘水辺公園」ほか30箇所以上を再生・保全の拠点として挙げることができ、これらはいずれも至近距離に位置している。

さらに小学校の総合的学習の一貫として、地域ぐるみで「ホタルの里づくり」の取り組みが、各地学校で進んでいる。これらの活動をさらに推進するとともに、個々にできあがった「ホタルの里」やトンボ池を水路や池などの連続した水辺や街路樹、林、森、緑道な

どでこれらの拠点をつなげ、生きものの行き来を可能にしていくことを目標としている。

線から面へと生息域を広げる

三浦半島を特徴づける谷戸^{やと}地形は開発を進めるうえで制約があった反面、東京湾岸に並んでみられるように、その最奥部にはホタルの生息域を残してきた。この生息域を各谷戸地域の人々によって拡大する活動が行われて、上流から下流まで縦につながった生息域が広がりつつある。更にこうした生息域が並んで位置する谷戸において次々に保全・再生されることによって、縦のつながり、即ち森から海へから横のつながりへと拡大することが期待できる。

東京湾ベルト地帯の水辺のビオトープをホタルを通してさらに内陸へ広げ、相模湾側に及ぶ半島全体の水辺のビオトープを構築することが可能となる。これらの拠点をせせらぎや池、湿地で結び、生態系的に連続した水辺のネットワークを構築することによって、開発とともに低下している自然の状態を高めることは現実的手法と考える。近隣自治体が共通の環境目標を掲げることで、三浦半島全体の自然復元を図ることは夢ではない。

三浦半島の環境は行政区で成り立っているわけではなく、三浦半島全体を視野に入れながら保全・再生を配慮する必要がある。

(本論は大場, 2004 を改変し作成)

参考文献

- 大場信義 2004. ホタルの里づくり. 石井 実編
日本自然保護協会.
大場信義編著 2004. だれでもできるホタル復活
大作戦.199 ページ. 合同出版.

ほたるの里の訪問者より

5月26日に勝田台中学校の「自然の家宿泊学習」で加藤会長がホタル及びほたるの里についての講義を行いました。講義の後、実際にほたるの里で草刈りを体験した中学生たちでしたが…。

<自然の家及び体験でお世話になった皆様へ>

先日、実施させていただきました「自然の家宿泊学習」では、皆様の温かなご指導・ご助言、誠にありがとうございました。また普段の私たちの指導では行き届かぬ点まで丁寧にご指導いただいたことに感謝しております。生徒には、今回、「他から学ぶ姿」と「仲間を大切にする姿」を身につけさせたいと考え、指導して参りました。お世話になりお気づきの点などございましたら、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。生徒の感謝の気持ちを伝えるひとつの方法として、手紙を書くことを提案しました。小学校を卒業したばかりの生徒ですので、まだまだ言葉は整っておりませんが、生徒の想いを感じていただければ幸いと存じ、同封させていただきました。

平成17年6月3日

八千代市勝田台中学校1学年職員一同

草かりをさせて頂いたこと、忘れません。やったことがあると言っても、家の庭の草かりを1、2回やっただけなので、とても貴重な経験になりました。



めずらしい生き物たちがウヨウヨしているということは絶対にすごいと思いました。



自然に係る団体や施設が増えてほしいなあなど思いました。またぼくも自然関係の仕事につけたらいいなと思いました。



ぼくは自然が好きなので、「ほたるの里」のような施設はとてもすばらしいと思いました。ぼくたちも、ゴミをポイ捨てせずに自然をきれいにしていきたいと思います！！



里のみどころ (7~9月のころ)

梅雨が明け、まぶしい太陽、青い空、真っ白い入道雲・・・夏です！
 里の周りの田んぼの稲は青々として、風が吹くほうにウエーブができます。
 生き物たちは、エネルギーッシュに動いています。

ホタルたちは暑い昼間、どうしているのでしょうか？

湿地には、ガマ、ヒメガマ、アシ、ハンゲショウなど草丈の高いものから、サジオモダカ、スイレンなどの低いものまで、水辺の植物が生えています。水中の植物の根や茎についているプランクトンは、水をきれいにしてくれます。ヤゴはガマなどの茎を頼りに、水の中からはい上がって、トンボになって飛んでいきます。

メダカやカエルは水草の下に、ホタルは水辺の草の葉の裏で、休んでいるのでしょう。
 ミソハギの花が咲き始めたら、季節は秋へと移っていきます。

(くわはた)

(オモダカ)

(サジオモダカ)

(ガ マ)

(ヒメガマ)

(もり)

ホタルのマメ知識

ホタルは昔からもっとも人々に親しまれてきた身近な里の生き物です。
 特にゲンジボタルの光は、人間の脳のアルファ波を刺激し、いきいきとさせる力を持つと言われてい
 ます。光の波長は、560~570 ナノメートル前後で、生物にとって一番識別しやすい波長となっています。
 私たちが心を病んだ時や感情が高ぶった時に、安らぎといやしをもたらしてくれそうです。
 ヘイケボタル、ゲンジボタルは水辺のシンボルでもあります。ホタルが見られる環境は、人間にとっ
 ても良い環境といえます。

ホタルをかんしょうするポイントは？

- ・ 午後7時~9時ころ
- ・ 無風で蒸し暑い夜

おやくそく！

- ・ ホタルは、もち帰らないでね！
- ・ かいちゅう電灯など光をつけないでね！

[ホタルのかんしょう会情報]

場 所	時 期	問い合わせ先
清和ほたるの里 (千葉県君津市豊英) (ゲンジボタル・ヘイケボタル)	6月上旬~7月上旬	清和県民の森管理事務所 TEL: 0439-38-2222
ロマンの森共和国 (千葉県君津市豊英) (ゲンジボタル・ヘイケボタル)	5月下旬~7月中旬	ロマンの森共和国 TEL: 0439-38-2211
板橋区ほたるの飼育施設 (東京都板橋区高島平) (ヘイケボタル)	7月16日~18日	TEL: 03-5970-3426 (テープ案内)
月夜野町ホタルの里 (群馬県利根郡月夜野町) (ゲンジボタル・ヘイケボタル)	6月中旬~7月上旬	月夜野町役場企画観光課 TEL: 0278-62-2111

第8回総会報告

今年で8回目を迎えたほたるの里づくり実行委員会の総会が4月9日に行われました。31名の参加者のもと、昨年度の事業報告と今年度の事業計画についての話し合いが進められました。今までの事業に加え、今年度は新たな事業として、写真展や休耕田の活用等を計画しており、今までの会費(個人300円)では、赤字になります。そのため、総会で会費の値上げが話し合われ、可決されました。

総会資料がほしい方は事務局にご連絡下さい。

7・8・9月のスケジュール

ナイトウォッチング

ほたるの里の観察会を行います。

日時：7月3日(日)

申し込み：当日、直接ふるさとステーションへ
(午後6時30分より受付を開始します。)

注意：当日は懐中電灯を持参の上、
動きやすい服装で。

里の環境整備

ほたるの里でザリガニ釣りや草刈を行います。

日時：7月30日(土)・8月27日(土)

午前9時から11時ごろ

9月24日(土)

午前10時から12時ごろ

集合場所：ほたるの里

注意：夏場は帽子や飲み物など、
各自で暑さ対策をして下さい。



ホテルメイトになりませんか？

年会費	個人	500円
	市民団体	2,000円
	事業所	2,000円

ホテルメイトで会費未納の方は、イベントやほたるの里整備のたびに受け付けておりますので、ご利用ください。

写真好き集まれ！！

ほたるの里で写真展を行います。ほたるの里や新川の四季、自然、おもしろい写真などなど、ほたるの里や新川にまつわる写真を募集しております。上位入賞者への景品も予定しています。

写真展にぜひ出品してみませんか？

○応募締切日時：平成17年9月30日

○テーマ：新川およびほたるの里

②日時・場所など詳しいことは決まり次第、ほたるの里だよりでお知らせ致します。

[ほたるの里の連絡先]

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyou2@city.yachiyo.chiba.jp

[編集]

広報部会 事務局